

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-091580

(43)Date of publication of application : 29.03.2002

(51)Int.Cl.

G05F 1/56

(21)Application number : 2000-285207

(71)Applicant : RICOH CO LTD

(22)Date of filing : 20.09.2000

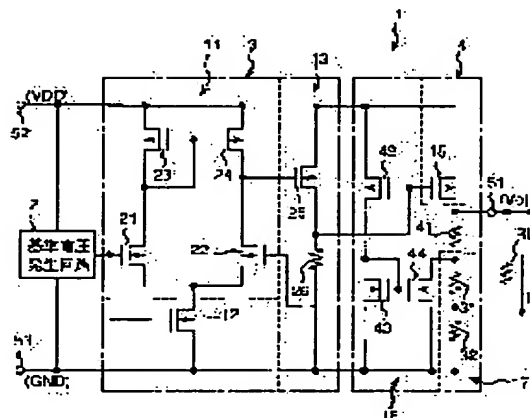
(72)Inventor : NAGATA TOSHIHISA
AGARI HIDEKI

(54) REGULATED POWER SUPPLY CIRCUIT

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a regulated power supply circuit which can suppress the lowering of regulation voltage despite the increase of output current I_o .

SOLUTION: An output voltage correction part 16 is arranged between an output transistor Tr 15 and an output voltage detection part 17 which generates the feedback voltage V_{fb} that is accordant with output voltage V_o . Then the part 16 applies the current to resistor 41 in response to the value of output current I_o for compensating the lowering of the voltage V_o .



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

24.08.2004

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-91580

(P2002-91580A)

(43)公開日 平成14年3月29日(2002.3.29)

(51) IntCl.⁷

識別記号

FI

テマコード(参考)

G O 5 F 1/56

310

G O 5 F 1/56

310D 5H430

審査請求 未請求 請求項の数5 OL (全 5 頁)

(21)出願番号 特願2000-285207(P2000-285207)

(22) 出題日 平成12年9月20日(2000.9.20)

(71)出願人 000006747

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1丁目3番6号

(72)発明者 永田 敏久

東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内

(72) 発明者 上里 英樹

東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内

(74) 代理人 100062144

弁理士 青山 葆 (外1名)

Fターム(参考) 5H430 BB05 BB09 BB10 BB11 EE06

FF02 FF07 FF11 FF13 GG08

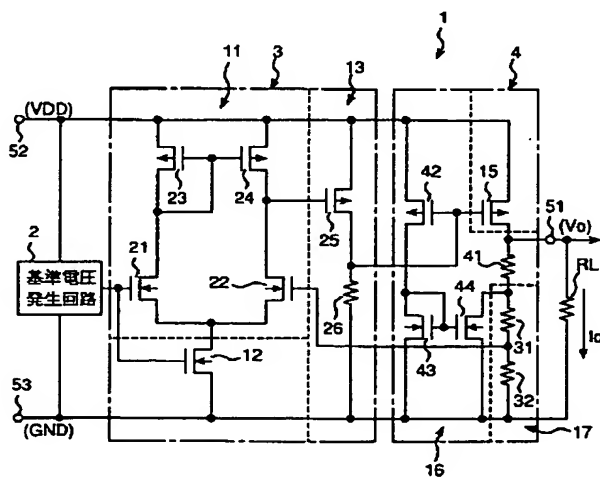
HH03

(54) 【発明の名称】 安定化電源回路

(57) 【要約】

【課題】 出力電流 I_o が大きくなってもレギュレーション電圧の低下を抑制することができる安定化電源回路を得る。

【解決手段】 出力トランジスタ15と、出力電圧V_oに応じたフィードバック電圧V_{fb}を生成する出力電圧検出部17との間に、出力電流I_oの電流値に応じた電流を抵抗41に流して出力電圧V_oの低下を相殺して補正する出力電圧補正部16を備えるようにした。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 制御信号入力端に入力される制御信号に応じて、外部の直流電源から供給される直流電流を可変して出力端子に出力する出力トランジスタと、
該出力端子の電圧検出を行う出力電圧検出部と、
該出力電圧検出部で検出された電圧が所定の電圧になるように上記出力トランジスタの制御信号入力端に制御信号を出力する出力電圧制御部と、
上記出力トランジスタから出力された電流の検出を行い、該検出した出力電流に応じて上記出力端子の電圧補正を行う出力電圧補正部と、を備えることを特徴とする安定化電源回路。

【請求項 2】 上記出力電圧補正部は、出力トランジスタから出力された電流の増加に応じて出力端子の電圧を上昇させる補正を行うことを特徴とする請求項 1 記載の安定化電源回路。

【請求項 3】 上記出力電圧補正部は、出力端子と出力電圧検出部との間に設けられた出力電圧補正用抵抗と、

上記出力トランジスタから出力された電流に応じて該出力電圧補正用抵抗に流れる電流を可変する出力電圧補正制御部と、を備えることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の安定化電源回路。

【請求項 4】 上記出力電圧補正用抵抗は、可変抵抗であることを特徴とする請求項 3 記載の安定化電源回路。

【請求項 5】 上記出力電圧補正用抵抗は、トリミング抵抗であることを特徴とする請求項 4 記載の安定化電源回路。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、安定化電源回路に関し、特に電源 IC に使用される安定化電源回路に関する。

$$V_o = V_{ref} \times (R_{102} + R_{103}) / R_{103} \dots\dots\dots (a)$$

なお、上記 (a) 式において、 R_{102} は抵抗 102 の抵抗値を、 R_{103} は抵抗 102 の抵抗値を示している。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 しかし、このような安定化電源回路 100 では、図 5 に示すように出力端子 108 から出力される出力電流 I_o の増加に応じて出力電圧 V_o が低下する。これは、差動増幅器 111 の NMOS トランジスタ 121 及び 122 の動作電流がアンバランスになり、NMOS トランジスタ 121 及び 122 のゲート・ソース間電圧 V_{gs} にオフセットが生じるからである。一方、出力トランジスタ 106 のゲートサイズを大きくして、出力トランジスタ 106 の電流出力能力を大きくすることにより、出力電流 I_o 増加時における出力電圧 V_o の低下を防止することができる。しかし、出力トランジスタ 106 のゲートサイズを大きくすることによって半導体チップの大きさが増大するという問題

る。

【0002】

【従来の技術】 図 4 は、従来の安定化電源回路の例を示した回路図である。図 4 の安定化電源回路 100 において、基準電圧回路 101 で生成された基準電圧 V_{ref} 並びに抵抗 102 及び 103 の出力電圧検出回路 104 で分圧して得られた電圧 V_{fb} は、差動増幅回路 105 で差動増幅される。該差動増幅回路 105 は、差動増幅を行って得られた信号を用いて P チャネル形 MOS トランジスタ（以下、PMOS トランジスタと呼ぶ）の出力トランジスタ 106 を制御する。また、出力電圧検出回路 104 及び出力トランジスタ 106 は出力回路 107 を形成し、出力電圧検出回路 104 と並列に負荷抵抗 R_L が接続される。

【0003】 差動増幅回路 105 は、差動動作を行う一対の N チャネル形 MOS トランジスタ（以下、NMOS トランジスタと呼ぶ）121 及び 122、並びに該各 NMOS トランジスタ 121 及び 122 の負荷をなすカレントミラー回路を形成する PMOS トランジスタ 123 及び 124 からなる差動増幅器 111 と、該差動増幅器 111 に電流を供給する定電流源をなす NMOS トランジスタ 112 と、差動増幅器 111 の出力に応じて出力トランジスタ 106 をドライブする出力部 113 とで構成されている。

【0004】 このような構成において、出力電圧検出回路 104 からの電圧 V_{fb} は、差動増幅器 111 の NMOS トランジスタ 122 のゲートに出力される。このことから、差動増幅回路 105 は、抵抗 103 の両端電圧が基準電圧 V_{ref} に一致するように動作して出力電圧検出回路 104 の両端にレギュレーションされた出力電圧 V_o が発生する。すなわち、出力端子 108 から出力される電圧 V_o は、下記 (a) 式のようなになる。

があった。

【0006】 本発明は、上記のような問題を解決するためになされたものであり、出力トランジスタのゲートサイズを増大させることなく、出力電流 I_o が大きくなってもレギュレーション電圧の低下を抑制することができる安定化電源回路を得ることを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】 この発明に係る安定化電源回路は、制御信号入力端に入力される制御信号に応じて、外部の直流電源から供給される直流電流を可変して出力端子に出力する出力トランジスタと、該出力端子の電圧検出を行う出力電圧検出部と、該出力電圧検出部で検出された電圧が所定の電圧になるように出力トランジスタの制御信号入力端に制御信号を出力する出力電圧制御部と、出力トランジスタから出力された電流の検出を行い、該検出した出力電流に応じて出力端子の電圧補正を行う出力電圧補正部とを備えるものである。

【0008】具体的には、上記出力電圧補正部は、出力トランジスタから出力された電流の増加に応じて出力端子の電圧を上昇させる補正を行うようにした。

【0009】また、出力電圧補正部は、出力端子と出力電圧検出部との間に設けられた出力電圧補正用抵抗と、出力トランジスタから出力された電流に応じて該出力電圧補正用抵抗に流れる電流を変化する出力電圧補正制御部とを備えるようにした。

【0010】また、上記出力電圧補正用抵抗に可変抵抗を使用するようにしてもよい。

【0011】具体的には、上記出力電圧補正用抵抗にトリミング抵抗を使用するようにしてもよい。

【0012】

【発明の実施の形態】次に、図面に示す実施の形態に基づいて、本発明を詳細に説明する。図1は、本発明の実施の形態における安定化電源回路の例を示した回路図である。図1において、安定化電源回路1は、所定の基準電圧 V_{ref} を生成して出力する基準電圧発生回路2と、差動増幅回路3と、出力回路4とで構成されている。差動増幅回路3は、差動増幅器11、該差動増幅器11に電流を供給するための定電流源をなすNMOSTランジスタ12及び出力部13で構成されている。

【0013】差動増幅器11は、差動動作を行う一対のNチャネル形MOSTランジスタ（以下、NMOSTランジスタと呼ぶ）21及び22、並びに該各NMOSTランジスタ21及び22の負荷をなすカレントミラー回路を形成するPチャネル形MOSTランジスタ（以下、PMOSTランジスタと呼ぶ）23及び24で形成されている。また、出力部13は、PMOSTランジスタ25と抵抗26との直列回路で形成されている。

【0014】一方、出力回路4は、差動増幅回路3によって動作制御されるPMOSTランジスタの出力トランジスタ15、出力端子51から出力される出力電圧 V_o の補正を行う出力電圧補正部16、並びに抵抗31及び32の直列回路で形成された出力電圧検出部17で構成されている。更に、出力電圧補正部16は、出力トランジスタ15と出力電圧検出部17との間に設けられ出力電圧 V_o の補正を行うために使用される抵抗41、出力トランジスタ15から出力される出力電流 I_o に応じた電流を出力するPMOSTランジスタ42、及び該PMOSTランジスタ42から出力される電流に応じた電流を抵抗41に流すためのカレントミラー回路を形成するNMOSTランジスタ43、44で構成されている。また、安定化電源回路1には、出力電圧検出部17と抵抗41の直列回路に並列に負荷抵抗 R_L が接続される。

【0015】電源電圧 V_{DD} が印加される電源端子52と接地されるGND端子53との間に基準電圧発生回路2が接続され、基準電圧発生回路2の出力端は、NMOSTランジスタ12及び21の各ゲートにそれぞれ接続されている。一方、差動増幅回路3において、PMOST

ランジスタ23及び24の各ゲートは接続され、該接続部はPMOSTランジスタ23のドレインに接続されている。PMOSTランジスタ23及び24の各ソースは、電源端子52にそれぞれ接続され、PMOSTランジスタ23のドレインはNMOSTランジスタ21のドレインに接続されている。

【0016】また、PMOSTランジスタ24のドレインはNMOSTランジスタ22のドレインに接続され、該接続部は差動増幅器11の出力端をなし、PMOSTランジスタ25のゲートに接続されている。NMOSTランジスタ21及び22の各ソースは接続され、該接続部とGND端子53との間にはNMOSTランジスタ12が接続されている。また、出力部13において、電源端子52とGND端子53との間に、PMOSTランジスタ25と抵抗26との直列回路が接続されており、PMOSTランジスタ25と抵抗26との接続部は、出力トランジスタ15及びPMOSTランジスタ42の各ゲートに接続されている。

【0017】次に、出力回路4において、電源端子52とGND端子53との間に、出力トランジスタ15、抵抗41及び出力電圧検出部17の直列回路が接続され、出力トランジスタ15と抵抗41との接続部が出力端子51に接続されている。また、NMOSTランジスタ43及び44はカレントミラー回路を形成しており、電源端子52とGND端子53との間に、PMOSTランジスタ42とNMOSTランジスタ43の直列回路が接続されている。

【0018】NMOSTランジスタ43及び44の各ゲートは接続されると共に、該接続部はNMOSTランジスタ43のドレインに接続され、NMOSTランジスタ43及び44の各ソースはGND端子53に接続されている。NMOSTランジスタ44のドレインは、抵抗41と抵抗31との接続部に接続され、抵抗31と抵抗32との接続部は、差動増幅器11のNMOSTランジスタ22のゲートに接続されている。

【0019】このような構成において、差動増幅器11は、基準電圧発生回路2からの基準電圧 V_{ref} 、及び出力回路4の抵抗31と抵抗32との接続部の電圧であるフィードバック電圧 V_{fb} の差動増幅を行い、該差動増幅を行って得られた信号を出力部13のPMOSTランジスタ25のゲートに出力する。該PMOSTランジスタ25は、差動増幅器11から入力された信号に基づいて出力トランジスタ15の動作制御を行う。

【0020】ここで、出力回路4において、出力トランジスタ15とPMOSTランジスタ42のゲート幅を所定の比、例えば1000:1になるように形成する。このようにすることによって、出力トランジスタ15から出力される出力電流 I_{ds} が100mAであるとする、PMOSTランジスタ42は100 μ Aの電流を出力する。更に、NMOSTランジスタ43及び44は、

ゲート幅が所定の比、例えば2:1になるように形成されている場合、NMOSトランジスタ43に $100\mu\text{A}$ の電流が流れると、NMOSトランジスタ44に流れる電流は $50\mu\text{A}$ となる。

【0021】また、出力電圧検出部17に $10\mu\text{A}$ の電流が流れるとすると、抵抗41に流れる電流 I_r は $60\mu\text{A}$ となる。このとき、抵抗31の抵抗値 R_{31} と抵抗32の抵抗値 R_{32} が、 $R_{31}:R_{32}=2:1$ であるとして、抵抗41と抵抗31との接続部の電圧は $3V_{fb}$ となり、出力電圧 V_o は、下記(1)式のようになる。

$$V_o = 3 \times V_{fb} + I_r \times R_{41} \dots\dots\dots (1)$$

なお、上記(1)式において、 R_{41} は抵抗41の抵抗値を示している。

【0022】このことから、出力回路4を、出力電圧補正部16がなく抵抗41を短絡して出力トランジスタ15に出力電圧検出部17が接続された従来の構成と比較して、抵抗41の両端に発生する電圧($I_r \times R_{41}$)だけ、出力電圧 V_o を上昇させることができる。例えば、 $R_{41}=200\Omega$ 、 $I_r=60\mu\text{A}$ とすると、出力電圧 V_o は、設定値、すなわち上記(1)式の($3 \times V_{fb}$)よりも 12mV 高くなるように制御される。

【0023】このため、負荷電流 I_o による出力電圧 V_o の低下を相殺する結果となり、負荷電流 I_o が大きくなっても出力電圧 V_o におけるレギュレーション電圧の低下を抑制することができる。このようにして、出力電圧 V_o が低下することなく出力電流 I_o を増加させることができ、出力電流 I_o が電流制限を行う値に達すると出力電圧が 0V となる図2のような出力特性を得ることができる。

【0024】なお、プロセスの変動による各MOSトランジスタのドライブ能力の変化、抵抗値のばらつき等から、負荷電流 I_o の値に対する出力電圧 V_o の低下の度合いが変わる場合がある。このようなことから、図3で示すように、抵抗41にトリミング抵抗を使用してもよく、製造時に安定化電源回路1に接続する負荷抵抗 R_L に応じて抵抗41をトリミングすることにより、出力電圧 V_o の低下を抑制し、より精度のよいレギュレーション電圧が得られる。また、抵抗41をトリミング抵抗の代わりに抵抗値の調整を行うことができる可変抵抗を使用してもよい。

【0025】このように、本実施の形態における安定化電源回路は、出力トランジスタ15と、出力電圧 V_o に応じたフィードバック電圧 V_{fb} を生成する出力電圧検出部17との間に、出力電流 I_o の電流値に応じた電流を抵抗41に流して出力電圧 V_o の低下を相殺して補正する出力電圧補正部16を備えるようにした。このことから、出力トランジスタのゲートサイズを増大させることなく、負荷電流が大きくなっても出力電圧の低下を抑制することができ、出力電圧のレギュレーション精度を

良くすることができる。また、抵抗41にトリミング抵抗等の可変抵抗を使用することにより、プロセス変動による出力電圧の変動を補正することができ、出力電圧のレギュレーション精度を更に良くすることができる。

【0026】

【発明の効果】上記の説明から明らかなように、本発明の安定化電源回路によれば、出力トランジスタから出力された電流の検出を行い、検出した出力電流に応じて出力端子から出力される電圧の補正を行うようにした。このことから、出力トランジスタのゲートサイズを増大させることなく、出力端子から出力される負荷電流の増加に伴った出力電圧の低下を抑制することができ、出力電圧のレギュレーション精度を良くすることができる。

【0027】具体的には、出力トランジスタから出力された電流の増加に応じて出力端子から出力される電圧を上昇させて補正を行うようにした。このことから、負荷電流の増加に伴った出力電圧の低下をより確実に抑制することができ、出力電圧のレギュレーション精度を良くすることができる。

【0028】また、出力端子と出力電圧検出部との間に出力電圧補正用抵抗を設け、該抵抗に出力トランジスタから出力された電流に応じた電流を流すようにしてもよい。このことから、負荷電流の増加に伴った出力電圧の低下をより確実に抑制することができる。

【0029】一方、出力電圧補正用抵抗に可変抵抗を使用することにより、プロセス変動による出力電圧の変動を補正することができ、出力電圧のレギュレーション精度を更に良くすることができる。

【0030】また、出力電圧補正用抵抗にトリミング抵抗を使用してもよく、このようにすることによって、プロセス変動による出力電圧の変動を容易に補正することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の実施の形態における安定化電源回路の例を示した回路図である。

【図2】 図1で示した安定化電源回路の出力電圧—電流特性を示した図である。

【図3】 本発明の実施の形態における安定化電源回路の他の例を示した回路図である。

【図4】 安定化電源回路の従来例を示した回路図である。

【図5】 図4で示した安定化電源回路の出力電圧—電流特性を示した図である。

【符号の説明】

- 1 安定化電源回路
- 2 基準電圧発生回路
- 3 差動増幅回路
- 4 出力回路
- 11 差動増幅器
- 13 出力部

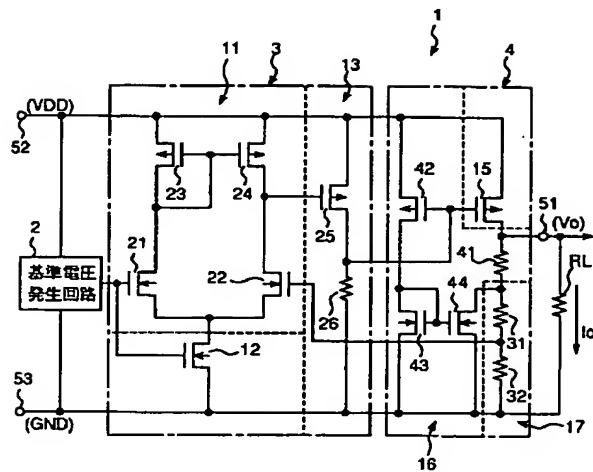
- 15 出力トランジスタ
16 出力電圧補正部
17 出力電圧検出部

- 51 出力端子
52 電源端子
53 GND端子

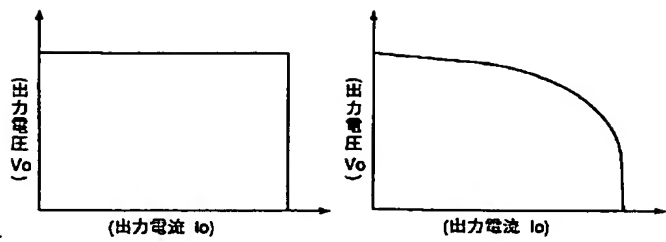
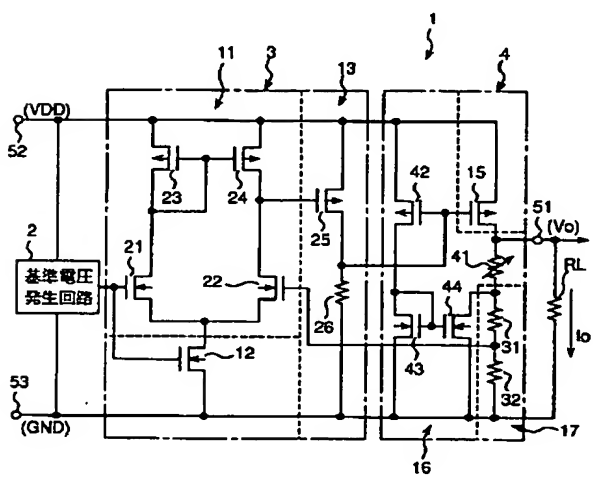
【図 1】

【図 2】

【図 5】



【図 3】



【図 4】

